

兵庫県昆虫館所蔵の長翅目標本について 大貝 秀雄

南光町船越にある兵庫県昆虫館は故平山修次郎氏所蔵の逸品を中心とした展示が今も人気を集めている。1996年7月にここを訪れた際に、当館付近で採集されたと思われる長翅目の標本が展示されていることに筆者は気づいた。分布資料として重要と考え注意して観察した結果、同定の誤りも認められたため僭越ながらここで訂正しておきたいと考えた。標本は11点あり一部ラベルの文字が判読困難になっていたが、すべて1970年代頃に南光町船越で採集されたものであった。展示内容は次の通りである。(種名と採集日は表示の通り。採集地はすべて南光町船越。)

1. シリアゲ 2♂♂1♀ VIII-73, VIII-73, VIII-78
2. プライヤシリアゲ 3♀♀ 12-V-76, 14-IV-77, 20-V-77
3. シバカワシリアゲ 1♀ 25-V-82(?)
4. キリシマシリアゲ 3♂♂1♀ 3-VI-76, 20-IV-77, 7-V-77(?), 10-V-77(?)

"シリアゲ"はヤマトシリアゲ (*Panorpa japonica* Thunberg) であろう。しかし標本ラベルが正しければ播磨の低山地では体色が黄褐色の *klugi* 型しか見られない時期の採品であるにもかかわらず雌雄とも黒色である点が気になった。播磨の高標高地では8月に黒ないし黒褐色の"シリアゲ"が見られる。しかしそれらと *Panorpa japonica* との同一性については本誌の別項で述べたように疑問があり、現時点では外見からの同定はできない。

"プライヤシリアゲ"と"シバカワシリアゲ"は同一種で、正しくはホソマダラシリアゲ (*Panorpa multifasciaria* Miyake) とすべきものであった。真のシバカワシリアゲは現在シバカワトゲシリアゲ (*Panorpa arakavae* Miyake) と改称されている。これは中部・北陸・関東の山地に分布する全くの

別種で、むしろ下記のキシタトゲシリアゲ (*Panorpa fulvicaudaria* Miyake) と近縁である。

"キリシマシリアゲ (*Panorpa kirishimaensis* Issiki)" はキシタトゲシリアゲ (*Panorpa fulvicaudaria* Miyake) のシノニムのひとつである。しかし、この標本の採集者が利用可能であったと思われる北隆館の原色昆虫大圖鑑では本種がキリシマシリアゲとして紹介されているので無理からぬ誤認であったろう。一方で最近、九州と中国地方西部のものは、播磨を基産地とする本種とは区別し得ると考えられるようになり(宮本正一、私信)、キリシマトゲシリアゲの名は亜種名として復活しそうである。もちろんその場合でも船越産の個体は疑いなく原名亜種に帰属する。

カラスザンショウに産卵するキアゲハ 唐土 洋一

1996年8月31日、自宅庭に置いている鉢植えのカラスザンショウにキアゲハが産卵しているのではないですか。カメラを取り出し写真をパチリ、2枚しか撮れなかった。

卵数を確認するため近寄ってみると、すでに葉上には1令幼虫が5頭ついている。卵は都合3卵



産卵に訪れたキアゲハ